

んぼの下顎を撫で、見て、堅くなつてゐる時分に、赤んぼはブー／＼云つて唾液を口から出してゐますのは、齒が生える時分で顎がいら／＼して氣持ちが悪いから、かうしてゐるのであります。お母さん方は、この様を見たら、もう生齒期に入るのだ、生齒期の障礙が起つて來る所だ、と早く承知して、手當をあやまらぬやうにて、醫師と相談して、生齒期障礙の豫防をしなければなりません。生齒期に於ける身體上の故障は、前に述べましたやうに、齒が生えてしまへば治るものでありまして、これで以て死亡するやうな事は殆んどありませんが、たま／＼母親の不注意から重症に陥らせて、愛らしい赤ちやんを失うてしまふ事がありますから、生齒期の障礙だからとて、等閑にすべきものでもございませぬ。

私は、健康な赤んぼに對して、「よく飲み、よく眠り、機嫌よく／＼、この三つを格言として居ります。お母さんのお乳をよく飲んで、夜は泣かずに眠り、晝は機嫌よくこ／＼して遊んでゐる赤んぼは、皆健康な赤んぼであります。この三つの中どれか一つでも缺いてゐましたら、その赤んぼは、身體に變調を起して居るのでございます。よくお乳を飲まない

とか、夜は眠らないとか、晝はむづかるとか云ふ時は、お母さん方の注意すべき時でありまして、生齒期の赤んぼは、この三つが缺けて居るのでございませぬ。健康な赤んぼを表すモットーとして、「よく飲み、よく眠り、機嫌よく、」をもう一度申上げて置きます。

○机邊より

……人類の生活が、つゞく限り悲しみは、つゞくに違ひない。人類の生活が、つゞく限り、人生には喜びがあるにちがひない。しかし同時に人生には無限に涙が流るゝにちがひない。畢竟人生は喜びの中の涙であり、涙の中の喜びであるとも言へよう。

ほんとうに人生の喜びを噛みしめてみれば、そこに無限な人生の光りや、意義が潜んでゐることを知るであらう。

同様に、ほんとうに人生の悲しみを噛みしむれば、そこから無限な人生の香味といふものを味識することが出来るであらう。

私たちの感情を動かして人生の諸相に打つ突かつて行けば、喜びか、また悲しみかこの二つの氣分の何れかが、私たちの生活面をいつも掩ふことになる。……〔小鳥の來る日〕より